

日本史B

1

次の文を読み、下記の間に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

モンゴル帝国の第5代とされる皇帝は都を大都に移し、1271年国号を元と称した。東は高麗を服属させ、さらに東方にある日本の征服を企図した。幕府は元への朝貢を拒否したので、1274年元は1度目の九州北部への遠征をおこなった。このときの襲来に対し、幕府は御家人を動員して対抗し、元軍の兵器に苦戦を強いられたものの撃退に成功した。これを文永の役と呼ぶ。元の2度目の日本への侵攻は、1281年のことであった。このときも幕府による番役の強化と博多湾沿いに築いた石造の構築物の効果などにより元軍を退却させることができた。

ところで、中国の史書『元史』によれば、1284年から1286年に到る3年間に、元は毎年アムール川下流域と間宮海峡を渡った南北に細長い島に軍隊を派遣し、「骨嵬」を征討した。その島の南端にある北海道を望む白主には、性格不明な土城があつて20世紀の日本統治の頃にはすでに知られていたが、近年現地調査が実施され、築造にあたり版築技術が用いられ、金代後半～元代の尺度が適用されていることから、元代につくられた可能性が高まった。元ののちの明代になっても、アムール川下流域に居住する先住民族への統治策は重要なままであった。

問1 この人物名を答えなさい。

問2 現代の地名を答えなさい。

問3 設問省略

問4 この火薬を使った兵器を何というか、答えなさい。

問5 (1) この侵攻の名称を答えなさい。

(2) この時の遠征軍は東路軍と寧波を出発した江南軍から構成され、江南軍は元に滅亡させられた国の水軍の兵が中心であった。この国の名称を答えなさい。

問6 九州地方の御家人などに課せられたこの番役の名称を漢字4文字で答えなさい。

問7 この今も残る痕跡を何というか、答えなさい。

問8 (1) この島の名称を答えなさい。

(2) もともとロシア領だったこの島の南半は、1905年に締結された条約により日本に譲渡された。この条約名を答えなさい。

問9 これは13世紀に北海道から進出した人々のことであると考えられている。この集団名を答えなさい。

問10 14世紀のなかば以降、東シナ海では武装した私貿易商人が勢力を伸ばし、明はその対策を理由に貿易を統制しようとした。この私貿易商人を何というか、漢字2文字で答えなさい。

2

次の文を読み、下記の間に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

江戸時代の村は、₁村方三役を中心とした本百姓による自治的な運営がなされた。本百姓は、田畠・屋敷地にかけられた年貢や、山林・原野・河海の利用や副業などにかかる₄_____などの負担を余儀なくされ、多くの百姓の生活は苦しいものだったとされる。₅

この時代は、各地で新田開発が活発に行なわれ、18世紀初め頃には、全国の耕地はほぼ2倍となった。それに加え農具や肥料の発達もあり、農業における生産力も大幅に増大した。また、各地の村においても、余剰米が商品として売られたり、商品作物が生産されるようになった。しかし、これらのことによって百姓の暮らし向きが全体的に大きく向上したということではなく、むしろ農村における貧富の差は拡大し、₉百姓一揆も増加していった。₁₀

問1 これは村役人ともいい、名主（庄屋・肝煎）、組頭（年寄）、_____によって構成された。_____にあてはまる語句を答えなさい。

問2 これに対し、検地帳に登録された田畠を持たない農民を何というか、答えなさい。

問3 (1) 江戸時代の自治的な村は、中世に近畿近国で形成された農民の自治的な組織に由来するともいわれている。この中世の農民の自治的な組織を何というか。最もふさわしいものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 荘 イ. 里 ウ. 惣 工. 園 オ. 郷

(2) (1)が領主に対する年貢納入を請け負う仕組みのことを何というか、答えなさい。

(3) (1)の中心的存在で、神社の祭礼を行なった農民たちの祭祀集団を何というか。最もふさわしいものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 市座 イ. 宮座 ウ. 山村座 工. 樂座 オ. 都座

問4 _____にあてはまる語句を答えなさい。

問5 (1) 本百姓の没落を防止することを目的の一つとして出された、田畠を相続等する際の分割を規制した幕府法を何というか、答えなさい。

(2) 犯罪や年貢納入の連帶責任単位として編成された、村民数戸ごとの近隣組織を何というか、答えなさい。

問6 新田のうち、有力都市商人が資金を投じて開発したものを何というか、答えなさい。

問7 次の農具のうち、穀粒の選別具として用いられたものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 千歯扱 イ. 千石篭 ウ. からさお 工. 踏車 オ. 扱箸

日

問8 次の肥料のうち、金肥ではないものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 干鰯 イ. 刈穀 ウ. ベ粕 エ. 油粕 オ. 糜

問9 農村における貨幣経済の波に乗り、地主となったり、商品作物生産に加え、流通や金融の中心となつた有力百姓のことを何というか、漢字2文字で答えなさい。

問10 百姓一揆のうち、村の要求を代表者が領主に直訴する形をとった一揆のことを何というか、答えなさい。

3

次の文章を読み、下記の間に答えなさい。なお、問7と問8を除き、下線部と問の番号は対応している。

この人物は、1841年に長州藩に生まれた。吉田松陰の（a）塾に学び、尊王攘夷運動に身を投じ、1863年にはイギリスに留学したが、四国連合艦隊の長州藩攻撃計画を知りて帰国、幕府の第1次長州征伐に₁対する藩首脳の処置に反対して挙兵し、藩内戦に勝利して藩の主導権を握り、諸改革を進めた。

明治政府に出仕後、次第に頭角を現し、1878年の（b）暗殺後には政府の最高指導者となり、明治14年の政変では進歩的な立憲政体を構想する政敵₂を政府から追放するとともに、10年後の国会開設を約束する勅諭を出して自由民権運動に対抗した。翌年、自ら渡欧してプロイセンの憲法や諸制度の調査にあたり、帰国後に一連の制度改革に着手した。

1885年に内閣制度を創設して初代首相に就任し、第1次内閣₃を組織。この間、大日本帝国憲法₄や皇室典範などの起草を進め、1888年には首相の座を薩摩派の黒田清隆に譲り、枢密院を新設してその議長に就任し、各草案の審議を主導した。

その後も、1892年には第2次内閣₅、1898年には第3次内閣、さらに1900年には第4次内閣をそれぞれ組織し、日清戦争前から日露戦争前にかけての政局において、つねに中心的な存在であり続け、重要な政務を処理した。日露戦争後の1905年には新設の韓国統監府の初代統監となり、韓国の保護国化を進め、1907年の（c）事件を契機に皇帝を譲位させ、内政権を掌握し、軍隊を解散させた。₆

1909年には統監を辞任。この年10月に日露関係の調整のため渡満し、ハルビン駅に到着した直後に韓国の独立運動家（d）に暗殺された。

問1 この挙兵の中心的人物を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 橋本左内 イ. 久坂玄瑞 ウ. 大村益次郎 エ. 山県有朋 オ. 高杉晋作

問2 この政敵とは誰か、氏名を答えなさい。

問3 この内閣が制定した法令として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 小学校令 イ. 華族令 ウ. 帝国大学令 エ. 保安条例

問4 この起草作業にかかわった人物として誤っている者を下から記号で選び、答えなさい。

- ア. 井上毅 イ. ロエスレル ウ. 金子堅太郎 エ. 伊東巳代治 オ. 井上馨

日

問5 (1) 第2次内閣の業績として正しいものを下記から選び、記号で答えなさい。

- ア. 文官任用令の改正 イ. 軍部大臣現役武官制の法制化
ウ. 文官分限令の制定 エ. 日英通商航海条約の締結 オ. 日米通商航海条約の改正

(2) 第4次内閣は、この人物によって創設された政党を基盤としていた。この政党の名称を答えなさい。

(3) この人物が第4次内閣総辞職後に主張し、山県有朋や桂太郎などの日英同盟論と対立した考え方を何と呼ぶか、答えなさい。

問6 この内容で韓国との間に締結された条約を何と呼ぶか答えなさい。

- ア. 日韓議定書 イ. 第1次日韓協約 ウ. 第2次日韓協約
エ. 第3次日韓協約 オ. 日韓基本条約

問7 空欄 a ~ d に適語を入れなさい。

問8 この人物の氏名を答えなさい。

4

次の文を読み、下記の間に答えなさい。なお下線部と問の番号は対応している。

1945年10月、マッカーサーは、¹首相に対して口頭で²5項目の指令を行ったが、この中で示された方針の一つが「経済機構の民主化」であった。GHQは、戦前の日本が資本家や地主が力を持ち、小作農や労働者の所得が低く抑えられ国内市場が拡大しなかったことが、日本の对外侵略の一因となったと考え、経済の民主化政策として、³()解体、労働者の権利拡大とともに農地改革の実施を日本政府に求めた。

すでに農林省は戦前期から、⁴地主と小作農の対立の調整を課題として農政を進めており、また戦時期には⁵食糧増産のために小作農に有利な米価を設定するなど地主への制限を強化していた。戦後、農林省が主導するかたちで、第1次農地改革案が出されたが、GHQはこれを不徹底としたため、⁶1946年10月にGHQの勧告案にもとづいて⁷第2次農地改革が開始され、地主の貸付地は⁸強制買収となり、小作農に安く売り渡された。この結果、1町歩未満の規模の自作農が多数創設された。小作農は自作農となつたことで生産意欲が向上し、⁹食料不足が続く中、¹⁰米の増産に取り組んだ。

農地改革の結果、農業生産は急速に向上し1955年には米の自給が可能となった。その後は¹¹食糧の需要調整と農業所得の安定化が目指されることとなる。

問1 この時の首相を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 鈴木貫太郎 イ. 東久邇宮稔彦 ウ. 幣原喜重郎 エ. 吉田茂

問2 この指令は何と呼ばれるか、答えなさい。

問3 空欄に当てはまる語句を、漢字2文字で記しなさい。

問4 これに関連して1922年に杉山元治郎、賀川豊彦らによって設立され、小作争議を指導した全国組織の組合の名称を答えなさい。

問5 これに関連して1942年に制定され、政府による主要食糧の管理・統制を徹底化させた法律の名称を答えなさい。

問6 この年にあった事項として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 二・一ゼネスト計画が決行直前にGHQの指令で中止された。
イ. 昭和天皇がいわゆる人間宣言をおこなって、自らの神格を否定した。
ウ. 金融緊急措置令が出され、預金封鎖と新円切り替えが実施された。
エ. 東京に設置された極東国際軍事裁判所で裁判が始まった。

日

問7 これについて述べた文として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 改革によって全農地の半分近くを占めた小作地は1割程度まで減少した。
- イ. 農地調整法改正と自作農創設特別措置法制定によって実施された。
- ウ. 山林地主の所有地については農地改革の対象とならなかった。
- エ. 不在地主の保有限度は都府県平均1町歩、北海道は4町歩とされた。

問8 (1) これに関して小作地の買収と売渡しに当たった機関の名称を答えなさい。

- (2) (1)の機関の構成員は地主・自作農・小作農から選出された。割合について正しいものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 地主1：自作農1：小作農1
- イ. 地主5：自作農3：小作農4
- ウ. 地主3：自作農2：小作農5
- エ. 地主1：自作農3：小作農4

問9 戦後の混乱の中、配給や公定価格を無視した取引が行われた。各地の焼け跡などに生まれた露店形式の市場は何と呼ばれたか、漢字2文字で答えなさい。

問10 これに関連して、農業経営を支援するため1947年以降各地に設立された組織の名称を答えなさい。

問11 これに関連して、農業の近代化と構造改善をはかるために1961年に制定された法律の名称を答えなさい。